

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【公表番号】特表2001-518962(P2001-518962A)

【公表日】平成13年10月16日(2001.10.16)

【出願番号】特願平10-542974

【国際特許分類第7版】

C 0 8 L 67/00

C 0 8 K 5/49

C 0 8 L 77/00

【F I】

C 0 8 L 67/00

C 0 8 K 5/49

C 0 8 L 77/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年4月7日 /

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

特願平10-542974号 /

2. 発明の名称

難燃性樹脂組成物

3. 補正をする者

イー・アイ・デュポン・ドウ・ヌムール・アンド・カンパニー /

4. 代 理 人

東京都港区赤坂2丁目6番20号

電 話 (03)3589-1201 (代表)

(7748) 弁理士 谷 義 一



5. 補正命令の日付

自 発

6. 補正対象書類名

明 細 書

7. 補正対象項目名

請求の範囲, 明細書



8. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙のとおり補正する。

(2) 明細書第12頁第3行を以下のとおり補正する。

「る添加剤を含有してもよい。慣用の充填材の具体例は水酸化マグネシウムである。

本発明は、好ましくは、以下の実施態様を含むものである。

1. (1) 30から70重量パーセントの、ポリエステル、合成の脂肪族ポリアミド、および合成の脂肪族芳香族ポリアミドコポリマーからなる群から選択されるポリマー、またはその混合物と、

(2) 15から40重量パーセントの強化剤と、

(3) (a) 20から45重量パーセントのポリリン酸メラミン；

(b) 15から30重量パーセントのポリリン酸メラミンおよび10重量パーセントまでのチャー形成触媒；

(c) 15から30重量パーセントのポリリン酸メラミン、10重量パーセントまでのチャー形成触媒、および10重量パーセントまでのチャー形成物

とからなる群から選択された難燃剤と

を含有し、すべての重量パーセントは、(1) + (2) + (3) のみの総重量に基づくものである組成物。

2. 前記チャー形成触媒は、リンタングステン酸、シリコタングステン酸、またはタングステン酸のアルカリ金属塩である前記1に記載の組成物。

3. 前記チャー形成触媒の量は、0.1から10重量パーセントである前記1～2のいずれかに記載の組成物。

4. 前記チャー形成物は、多価アルコールである前記1～3のいずれかに記載の組成物。

5. 前記多価アルコールはペンタエリトリールである前記4に記載の組成物。

6. 前記チャー形成物の量は、0.1から10重量パーセントである前記1～5のいずれかに記載の組成物。

7. 前記脂肪族ポリアミドは、ナイロンー6、6、ナイロンー6、そのコポリマー、

またはその混合物であり、および前記難燃剤の量は25～30%である前記1～6のいずれかに記載の組成物。

8. 前記ポリエステルは、ポリエチレンテレフタレート、ポリブチレンテレフタレート、ポリエチレンテレフタレート／ポリブチレンテレフタレートコポリマー、またはポリエチレンテレフタレート／ポリブチレンテレフタレート混合物である前記1～7のいずれかに記載の組成物。

9. 前記難燃剤はポリリン酸メラミンである前記1～8のいずれかに記載の組成物。

10. 前記ポリリン酸メラミンは、25から45重量パーセントの量で存在する前記9に記載の組成物。

11. 前記強化剤は、ガラス、カーボン、マイカ、アラミド繊維、またはその混合物である前記1～10のいずれかに記載の組成物。

12. 前記組成物は、60重量パーセント以上のポリエステルと40重量パーセント以下の合成の脂肪族ポリアミドとの混合物を含有する前記1に記載の組成物。

13. 前記1～12のいずれかに記載の組成物から製造された成形品。」

以 上

別 紙

請求の範囲

1. (1) 30から70重量パーセントの、ポリエステル、合成の脂肪族ポリアミド、および合成の脂肪族芳香族ポリアミドコポリマーからなる群から選択されるポリマー、またはその混合物と、
(2) 15から40重量パーセントの強化剤と、
(3) (a) 20から45重量パーセントのポリリン酸メラミン；
(b) 15から30重量パーセントのポリリン酸メラミンおよび10重量パーセントまでのチャー形成触媒；
(c) 15から30重量パーセントのポリリン酸メラミン、10重量パーセントまでのチャー形成触媒、および10重量パーセントまでのチャー形成物
とからなる群から選択された難燃剤と
を含有し、すべての重量パーセントは、(1) + (2) + (3) のみの総重量に基づくものであることを特徴とする組成物。

(以下余白)